【プレゼンテーション実務士】教育課程　到達目標達成度評価表（提出用）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 資格到達目標 | 開発能力 | 具体的な学修目標 | 学生自己評価  （項目別）レベル | 学生自己評価  （領域別）総合評価 |
| 領域１　プレゼンテーションに必要な基礎能力や社会と自分を知る力を備え、実践学修ができる基礎能力を修得している。 | 1-1  プレゼンテーションの基礎能力 | ①プレゼンテーションに必要な学修の基礎能力（問題発見力・情報収集力・情報編集力・提案力・デジタル基本スキル・言語表現力など）を身につけている。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ②正課内外の学修活動で協働意識をもって行動し、成果を振り返り改善点を明確にできる。 | 5・4・3・2・1 |
| 1-2  社会と自分を知る力 | ③市民社会や組織の一員としての自覚をもって現実を理解し、問題を誠実に調べ、省察し、分析できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ④他者への思いやりや責任感をもって学修課題に取り組み、課題解決に向けた活動を行うことができる。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域２　幅広いプレゼンテーション実務に対応する専門的知識・スキルを修得し、それを活用する力を備えている。 | 2-1  プレゼンテーションの理解 | ⑤プレゼンテーションとは何かを理解し、効果的な組み立て・資料準備・資料提示など、プレゼンテーションの基本活動を理解している。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑥情報の整理、論理的な構成、効果的な資料作成、わかりやすい話し方など、聞き手の共感を獲得する方法を理解している。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-2  プレゼンテーション実務の専門的知識・スキル | ⑦聞き手のニーズを分析し、プレゼンテーションの目的を設定し、収集した情報を活用して、説得力のあるストーリーを組み立てることができる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑧パソコンを活用してプレゼンテーションに必要な情報収集・情報整理をし、スライドやレジュメなどの資料を作成でき、その効果的方法を他者に説明できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑨表現技術（言語表現・非言語表現）を身につけ、プレゼンテーションに活用できる。 | 5・4・3・2・1 |
| 2-3  プレゼンテーションの実務実践 | ⑩与えられた条件のもとで、時間管理を適切に行い、目的に応じたプレゼンテーションを実践できる。 | 5・4・3・2・1 |
| ⑪正確な情報と論理的な話の構成、および、わかりやすい資料や聞き取りやすい誠実な話し方などの総合的表現力を身につけている。 | 5・4・3・2・1 |
| 領域３　学びの基礎能力やプレゼンテーションの実務学修活動を通して、総合的な実践力と学びの継続力の重要性を理解している。 | 3-1  総合的実践力 | ⑫学修した成果を活用して、目的に応じたプレゼンテーションを準備・実施でき、結果を振り返って次の実践に活かすことができる。 | 5・4・3・2・1 | 5・4・3・2・1 |
| ⑬基礎分野や専門分野の学修の様々な場面で、学んだプレゼンテーション実務力を総合的に活用して実践することができるとともに、それを他者に教える素養を備えている。 | 5・4・3・2・1 |
| 3-2  実践活動における学びの継続力 | ⑭学修したプレゼンテーション実務の基礎力を活かし、社会変化を踏まえて学びを継続する価値に気づいている。 | 5・4・3・2・1 |

〇評価結果の全体振り返りと今後の自分の開発能力と学修課題について（300字程度 学生記入）

|  |
| --- |
|  |

教職員提出確認

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大学ｺｰﾄﾞ |  | 大学名 |  | 学部・学科 |  |
| 学籍番号 |  | 氏名 |  |